

家庭学習の手引き

自ら学ぶ子どもたちに



西条市立玉津小学校

保護者の方へ

小学校の学習は、将来自立するための基礎となるものです。特に「読む」「書く」「計算する」などは、欠かすことのできない「生きるための力」です。

玉津小学校では、一斉指導だけでなく個別指導や少人数指導など、「個に応じた指導」の取組などを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することで、更にその力が何倍にも高められます。

よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に置いていただき、お子様の学力向上にお役立てください。

◎ 家庭学習における保護者の役割

1 学習時間の確保

短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせてください。「何時から何時まで勉強する。」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定をしてください。

2 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけているなかで勉強しても、効果はあがりません。子どもが落ち着いた環境で学習できるように、各家庭でよく話し合い、工夫してください。

3 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけたり、ほめたり励ましたりすることで、子どもはどんどんやる気を出します。子どもの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

4 学校との連携

子どもの学習で、分からないときや迷ったときなどは、担任に遠慮なくお知らせください。



小学校 3・4年

玉津小学校

＜保護者の方へ＞

「自主的な学習習慣を身に付ける」ために

3・4年生では・・・

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉）の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。



学習の特徴

- ・ 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ・ 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をする事が多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- ・ 算数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。

家庭での援助

- ・ 家庭でのあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- ・ 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を付けさせることが要です。
- ・ 学習する前に学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ必ずやりきらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡し習慣を付けましょう。
- ・ 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れさせる体験をさせましょう。
- ・ 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。

児童のみなさんへ

□ 家に帰ったら

- ① つくえの上に勉強の道具だけを置く。
- ② しずかなところで勉強する。(宿題・自主学習をする。)
- ③ 文字をていねいに正しく書く。
- ④ 全部できたか、たしかめる。
- ⑤ 計画ちょう(玉の子ノート)をチェックしながら、明日の時間わりを合わせる。
- ⑥ 学校からのおたよりは、お家の人にならず見せる。

□ 自主学習の仕方

1 宿題は、きちんとすませる。

(☆しせいよく ☆ていねいに ☆見直しもしっかりと)

2 自主学習をしよう。

- その日の学習(それぞれの教科)の復習
学んだことを自分の言葉でまとめたり、ふりかえったりしよう!
- 音読(教科書・選んだ本)や読書
- 国語の教科書の好きなところの視写
- 詩や俳句、短作文、日記
- 分からない言葉の意味調べ(辞典を使って)や漢字練習
- 算数の計算練習や問題(教科書・ドリル・学習帳など)
- 新聞やニュースを見て、感想や分かったことを書く。
- 地図帳で関心のあることについて調べて書く。
- 次に学習するところ(それぞれの教科)の予習
- テスト勉強

45分～60分
しよう!



5 家庭学習の時間について

学習時間のめやす（毎日これくらいの時間は頑張らせてください。）

////////////////////////////////////
1・2年生・・・30分程度
3・4年生・・・45分～60分程度
5・6年生・・・60分～90分程度
////////////////////////////////////

6 規則正しい生活をさせてください。

- 早寝（1・2年は9時、3・4年は9時30分
5・6年は10時までに寝る。）
- 早起き（6時30分までに起きる。）
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便をする。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。

※ 学習の大切なポイント

- ・勉強するときは、テレビを消す。
- ・よい姿勢で学習する。
- ・机の上を、きれいにかたづける。
(明るさにも気を付けましょう。)

◎ 家庭学習の参考例

国語 ・漢字練習・意味調べ・視写・読書
音読・日記など

算数 ・計算練習・ドリル学習・文章問題
・テストやプリントで間違えた問題を
もう一度解いてみる。

社会 ・理科・生活科など
・勉強したところに関係がある事柄を
本や辞典などで調べてまとめる。

市販のドリルや問題集、自主学習や読書などに
進んで取り組むこともいいでしょう。

7 家庭学習でのお願い

- (1) 学校からのおたよりを、かばんから出させます。
(連絡袋の確認)
- (2) 学校から出る「宿題」を最初にさせてください。
- (3) 時間が余ったら、「家庭学習の参考例」の中から選んでさせてください。(自分で考えたものでもかまいません。)
- (4) どうしても勉強にあきてしまうときは、読書やお絵かきなどでもかまいませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」習慣を身に付けさせることが大切です。
- (5) 終わったら、計画帳(かにさんノート・玉の子ノート)をチェックしながら、明日の時間割をあわせさせます。

8 生活の中で心がけたいこと

- 読書は「見えない学力」を高めるので、進んで本を読む。
- 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。
- 日本地図や世界地図を身近に置いて調べる。
- 新聞を読んだりニュース番組を見たりして親子で話し合う。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察する。
- 外遊びや運動をして、体力を高める。
- 家の手伝いを進んでする。

